



1階のLDK。分かれていたキッチンとリビング・ダイニングを一体化し、どこにいても家族の気配が感じられる配置に。「対面式のキッチンでみんな一緒に過ごす時間が増えました」とのこと。

住み継ぐツーバイフォー 

## 築37年の2世帯住宅を 大人3人のための開放的な住まいに



**DATA**

リフォーム年 / 2022年  
築年数 / 37年 (リフォーム実施時点)  
規模 / 2階建て  
既存建物面積・リフォーム面積 / 142㎡ (11㎡減築)  
設計・施工 / 大和ハウスウッドリフォーム㈱

### 今の家族の暮らしに合わせて一新

2世帯住宅として37年前に建てられました。当時は子世帯として2階に暮らしていたご家族も、今は夫妻と娘さんの大人3人となり、ライフステージの変化に合わせて家の使い方を見直す時期を迎えました。

「キッチンを対面式に」「内装・設備を新しく」「収納の充実を」と希望はふくらむものの、ツーバイフォー住宅でできるかが心配でこの足を踏んでいたという夫妻。ツーバイフォー工法に精通するリフォーム会社に相談したところ、間取りを自由に変えられることを知り、計画が進みました。

### 広く明るく居心地のよい住空間に

1・2階の両方にLDKがあり、既存の配管を活かしながら新しい2つのLDKがプランされました。1階はキッチンを移動させてリビング・ダイニングと一体化し、テラスを新設。キッチンの真横に洗面室・浴室を配置し、収納を充実させて家事・身支度の動線を整え、「つねに片づく家」へ。2階はダイニングと洋室をつなげたバルコニーのあるセカンドリビングを中心とした明るいLDKを創出。家全体の内外装を一新し、高性能サッシへの交換等の断熱対策で「居心地がよく、家にいるのが楽しくなりました」と夫妻は微笑みます。

Before



リフォーム前。窓はシングルサッシで開口面積が広がったため、冬場の結露が悩みだった。

After



吹抜けを活かして内装を一新した玄関。コートクロークを通って洗面室に至る動線は、「帰宅後の身支度や手洗いがスムーズになった」と好評。



キッチンと連続する洗面室はアンティーク風に。木目調の収納と間仕切壁などが合わさって、上質な空間に。



洋室はブルーグリーンのクロスがアクセントに。縦長の連窓は外観デザインにも効果的に用いられている。



やわらかなライトベージュの外壁にスリット状の窓を配置し、モダンな印象となった外観。

### リフォームのプロが語る

### 豊富なノウハウと施工実績を活かし理想の住まいをカタチにする

柱や梁で建物を支える在来工法と比べ、壁や床など「面」で建物を支えるツーバイフォー工法はリフォームが難しいと思われがちですが、構造の知識と施工のノウハウがあれば、お客様のご要望や建物の状況に合わせてリフォームを提案でき、大胆な間取りの変更も可能です。

M様邸では事前に構造図面が手に入らなかったため、現地で小屋裏・床下調査を実施し、既存建物の構造を把握しました。小屋組・基礎の位置から耐力壁・支持壁・仕切り壁を把握したうえでご要望とのすり合わせを行い、ご希望に沿った間取りができました。技術面では、耐力壁量バランス・鉛直力の計算を都度行いながら、耐震補強を図り、安全・安心なリフォームとなりました。

創業50余年の経験と知恵を受け継ぐ当社はこれからもリフォームのプロが専任チームを組んでお客様と対話し、理想の住まいをカタチにしていきます。

(大和ハウスウッドリフォーム㈱)  
営業担当 岩山 創氏 / 技術担当 古川 篤氏



ウッドデッキを新設し、白い玉砂利を敷き詰めた庭は「同じ広さなのに、前よりも広く感じます」と話すほど印象が一新された。



2室をつなげた広々とした空間に変わった2階のセカンドリビング。「1階に来客があるときのプライベート空間としても、重宝しています」と奥様。